



## 平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年3月16日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月30日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年5月期第3四半期の業績（平成28年5月16日～平成29年2月15日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	14,531	△2.5	590	△9.9	617	△12.8	358	△16.9
28年5月期第3四半期	14,906	4.1	655	△22.4	707	△18.8	431	△15.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	131.47	—
28年5月期第3四半期	152.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	8,867	5,880	66.3	2,155.46
28年5月期	8,906	5,603	62.9	2,053.93

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 5,880百万円 28年5月期 5,603百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年5月期	—	0.00	—		
29年5月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年5月期の業績予想（平成28年5月16日～平成29年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,273	△2.3	568	△37.5	611	△37.3	331	△35.5	121.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	2,903,600株	28年5月期	2,903,600株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	175,390株	28年5月期	175,356株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	2,728,228株	28年5月期3Q	2,834,137株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善及び賃金・雇用環境の持続的な改善が見られる一方で、個人消費低迷の長期化と、米国新大統領就任に伴う政策変更や英国のEU離脱問題等の国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、他業種他業態との顧客獲得競争が激化するとともに、食材全般にわたる不足感から仕入価格の高騰傾向が止まず、また、労働需要の逼迫に伴う労働単価の上昇及び人材確保が大きな課題になる等、経営環境はより厳しさを増しております。

このような状況において、販売促進につきましては、当社の主力商品である「まぐろ」にこだわった「高品質」かつ「お得感」のあるイベントメニューの充実と、「四十周年記念創業祭」の開催や、「真鱈白子」「牡蠣」「あんこう」「とらふぐ」など時節の旬の食材に『ひと手間を加えた魅力的で自信のある商品』の提供と併せて、積極的なパブリシティとWEB媒体の活用を推し進め、お客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

店舗展開については、効率性の高い都心部を中心とした収益性に見合う厳選出店に限定するとともに、限られた人材資源の有効活用を図るために不採算店の閉店基準を見直し、当第3四半期累計期間において、木場店(平成28年9月)、狛江店(平成28年11月)を新規に出店する一方で、西橋本店(平成29年1月)を閉店しました。この結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は93店舗となっております。

また、利益体質改善のために、既存店の強化に向けて、草加店・綾瀬店(平成29年1月)、市川店(平成29年2月)の3店舗について、作業性の向上及びイメージアップを重視した効果的な改装を実施するとともに、特に「QSCの徹底」に注力し業績回復に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は145億31百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は5億90百万円(同9.9%減)、経常利益6億17百万円(同12.8%減)、四半期純利益は3億58百万円(同16.9%減)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ38百万円減少し、88億67百万円(前事業年度末比0.4%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ83百万円増加し、58億99百万円(同1.4%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加3億12百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億21百万円減少し、29億67百万円(同3.9%減)となりました。これは主に、店舗設備の減価償却費および減損損失の計上によるものあります。

#### (負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ3億15百万円減少し、29億87百万円(前事業年度末比9.5%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億10百万円減少し、25億97百万円(同4.1%減)となりました。主な内訳は、買掛金の減少1億9百万円及び未払金の減少86百万円ならびに賞与引当金の増加67百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2億4百万円減少し、3億89百万円(同34.4%減)となりました。主な内訳は、長期未払金の減少2億6百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億76百万円増加し、58億80百万円(同4.9%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加2億76百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高192億73百万円、営業利益5億68百万円、経常利益6億11百万円、当期純利益3億31百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き寿司業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店候補地を厳選してまいります。第40期(平成28年5月16日から平成29年5月15日まで)の新規出店数は、3店舗を計画しております。

但し、食材に係る安全性の問題、市場変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,098,389	5,410,744
売掛金	114,862	55,490
原材料及び貯蔵品	181,660	130,689
その他	421,240	302,971
流動資産合計	5,816,151	5,899,895
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,077,729	1,027,436
その他(純額)	445,246	415,098
有形固定資産合計	1,522,975	1,442,534
無形固定資産	104,920	82,530
投資その他の資産		
敷金及び保証金	875,690	883,819
その他	587,406	560,128
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,462,018	1,442,869
固定資産合計	3,089,915	2,967,934
資産合計	8,906,067	8,867,829
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,161,648	1,051,961
短期借入金	150,000	169,500
資産除去債務	—	1,695
未払金	955,694	869,620
未払法人税等	182,308	153,645
賞与引当金	111,600	179,200
株主優待引当金	33,053	28,142
店舗閉鎖損失引当金	—	9,600
その他	114,432	134,495
流動負債合計	2,708,738	2,597,861
固定負債		
資産除去債務	204,258	207,838
その他	389,436	181,581
固定負債合計	593,694	389,419
負債合計	3,302,432	2,987,281

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月15日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	5,797,367	6,074,194
自己株式	△746,413	△746,557
株主資本合計	5,603,734	5,880,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△99	131
評価・換算差額等合計	△99	131
純資産合計	5,603,634	5,880,548
負債純資産合計	8,906,067	8,867,829

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成28年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成29年2月15日)
売上高	14,906,362	14,531,315
売上原価	6,260,978	6,034,633
売上総利益	8,645,384	8,496,682
販売費及び一般管理費	7,989,866	7,906,255
営業利益	655,517	590,426
営業外収益		
受取利息	3,300	2,300
協賛金収入	17,709	16,658
受取補償金	22,636	—
その他	12,914	10,264
営業外収益合計	56,561	29,224
営業外費用		
支払利息	2,214	1,250
現金過不足	1,345	1,038
その他	553	0
営業外費用合計	4,113	2,289
経常利益	707,965	617,361
特別利益		
固定資産売却益	1,412	1,632
特別利益合計	1,412	1,632
特別損失		
固定資産除却損	2,453	865
減損損失	—	28,627
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	10,800
特別損失合計	2,453	40,293
税引前四半期純利益	706,924	578,701
法人税等	275,555	220,027
四半期純利益	431,368	358,673



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。